

嶋満神社便り

平成三十一年一月号(第二十八号)
発行 嶋満神社奉賛会

皆様明けましておめでとうございます。

今年も会員の皆様にとつて幸せな年となりますよう、お祈り申し上げます。

さて今年も役員さん方の手により、きれいにお飾りをして頂き、無事新年を迎えることができました。お供えを頂戴しました皆様にも感謝申し上げます。



鄙の神社が突如人気スポットに

一月五日付読売新聞に、SNSによって突如有名になった鄙の片隅の神社のことが載っていました。元は昭和三十年に漁師さんが個人で創建された海岸の神社ですが、後を引き継がれた息子さんが、海苔の収穫の合間にこつこつと鳥居を手作りで建てて増やしていった結果、素晴らしい絶景が出来上がったということです。

山口県長門市にある、**元乃隅稲成神社**（もとのすみなりじんじや）です。「稲荷」ではなく、「稲成」と書くのは津和野市にある「太鼓谷稲成神社」から分霊されたからだとか。



(元乃隅稲成神社)

この神社、初めはあまり知られていなかったのですが、ネットで紹介されてからは瞬く間に有名

スポットに。今では年間百万人以上が訪れる超人気スポットだそうです。

だがしかし、です。

山口県が撮影を依頼した人気ユーチューバーの英国人の発言には「？」と思わざるを得ません。

「外国人には歴史は二の次、説明は頭に入らないし、まずは見た目が重要。」



(元乃隅稲成神社)

いや、英国の人だけでなく、大方の日本人もそうのように思っているのではないかと思われます。しかし景色が美しいのはそのものが持っている歴史、伝統、それを受け継いできた人々の思いが込められているからで、そしてそれを見に来た人が感じられるからではないでしょうか。それはここが、ただ風光明媚な観光スポットでなく、個人の昭和に入ってから創建とはいえ、「神社」だからこそ余計にそう思います。

SNSがきっかけとなって訪れてみて、その歴史的背景などを学び、さらに深くそのものや土地を愛する人が多くなれば、それはSNSの進化した形、望むべくひとつの姿と言えるかもしれませぬ。

当、嶋満神社HPも少しでも多くの人に関心を持ってもらえるよう、心を込めて発信し続けたいと思っております。尚、この「便り」もサイトで読めるようにしましたので、興味のある方は是非ご覧ください。トップページは

<http://tanioka.my.coocan.jp/hanamaru/jinja.html>

となっております。尚、ブログの方にも嶋満神社関係の記事を書いていますので、QRコードを読み取ってアクセスし、左側の「link」(リンク)から「嶋満神社」を選択してください。



今号もお付き合いただき、ありがとうございます。